

# 大倉本館

Okura House

No. 12-049-2017作成

新築

物販/飲食/事務所/その他

発注者	中央建物株式会社	カテゴリー	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO <sub>2</sub> 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術/FB
設計・監理	大成建設株式会社一級建築士事務所		E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携
施工	大成建設株式会社		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他	

## 環境制御を兼ねた更新可能なフレキシブルファサード

### 歴史の継承・発展

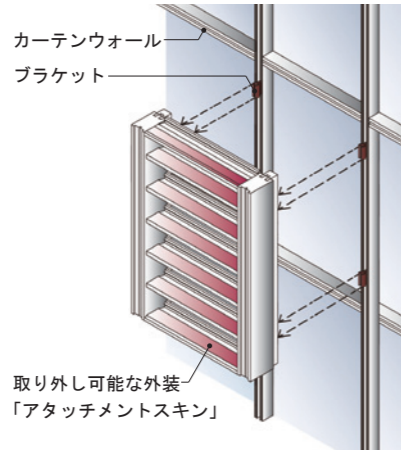
旧大倉財閥の創業者、大倉喜八郎によって創立された大倉組商会の事務所として、明治15年（1882年）に初代の大倉本館が銀座のこの地で建設された。その後、時代の要請とともに発展を重ね建替え等が行われてきたが、本計画は4代目の建替えにあたる。世界屈指のラグジュアリーブランドが立ち並ぶ銀座二丁目の一角に新たに誕生した大倉本館は、伝統を継承し、将来にわたり銀座のシンボルとなり続けていくことを目指した。



初代（明治15年） 二代目（大正4年） 三代目（昭和40年）

### 更新可能な外装システム「アタッチメントスキン」

銀座地区に軒を連ねる高級ブランドのファサードは数年から十数年で新しいデザインに更新され続けており、それによってファサードの更新サイクルと建物の建替えサイクルに差を生じさせる。そのため当計画では、将来外装のリニューアルが行われる際に、入居テナントの業務への影響を最小限に留めることが求められた。技術的な方策として、通常のユニット式のアルミカーテンウォールの方立にブラケット



取り外し可能な外装「アタッチメントスキン」

「アタッチメントスキン」概要図

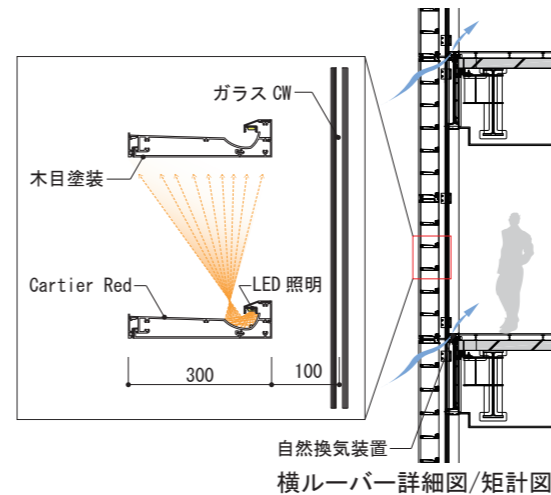
の実現に至った。



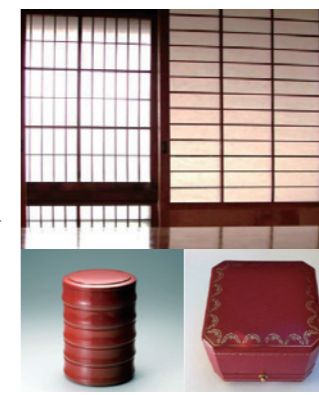
外観（夜景）

### ファサードデザインと熱負荷低減の両立

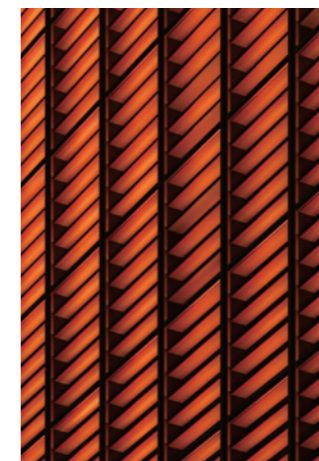
高層外装はブランドイメージと日本意匠の融合を意識した障子を想起させるフレームと、横ルーバーにより各階統一された奥行きのあるデザインとなっている。横ルーバーの上面はメンテナンスのブランドカラーとなっており、LED照明に照らされることによって、夜間は昼間とは異なる幻想的な銀座の夜の風景を創り出すことを図った。また横ルーバーは日射遮蔽機能の役割を担う省エネ装置としての機能も合わせ持っており、横ルーバーによる年間の空調負荷低減率は約23%と試算されている。



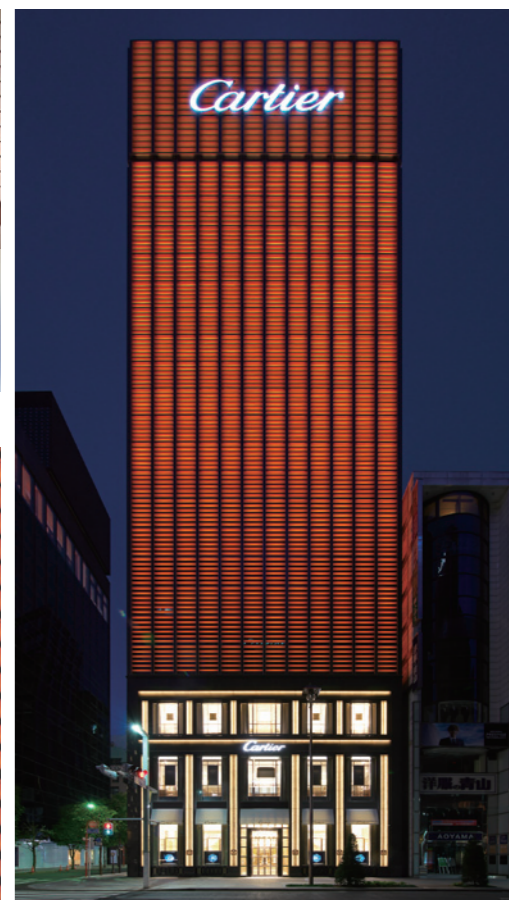
横ルーバー詳細図/矩計図



日本意匠/Cartier Red

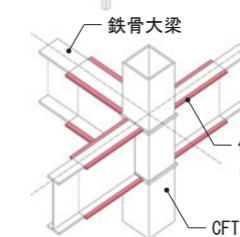
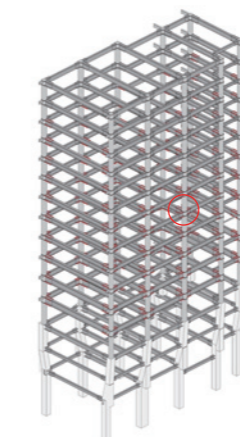


横ルーバー（高層外装）



外観（夜景）

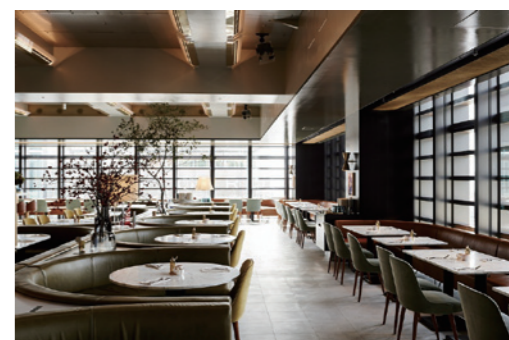
テナント専有部に影響が出ない都市型制震デバイス  
東日本大震災や熊本地震等大きな地震が頻繁に起こり、耐震安全性の関心はますます高くなってきている。制震構造を採用し「付加価値として安全性を高めたい」というオーナーの要望が出された一方、ダンパー等の一般の制震装置を用いると貸床面積を減らしてしまうことが従来からの課題であった。その課題に対して、テナント専有部に影響を出さない新たな制震装置の開発を行った。採用した制震デバイスは、大梁の端部に地震エネルギーを吸収し揺れを低減する目的で極低降伏点鋼を取り付けたもので、天井内に納まり、テナントスペースに全く影響しない省スペース型の制震装置である。新たに開発した制震デバイスにより、高い集客力を誇る銀座にてテナントに対してメリットを生むことに成功した。また、設備においては銀座の中心地にありながら非常時の電源を72時間確保する発電機を設置。建物の耐用性と信頼性を高めている。



天井内制震デバイス

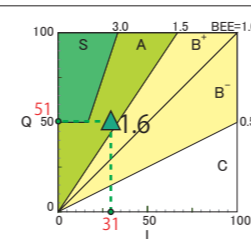
設計担当者

統括：高橋章夫/建築：小林浩、村國健、濱田真介/構造：鈴木裕美、井之上太/設備/高木淳、内田元、上田泰史/  
ファサードデザイナー：Sylvain Dubuisson/



テナント内観

建物データ	省エネルギー性能	CASBEE評価
所在地	PAL削減	Aランク
竣工年	ERR (CASBEE準拠)	BEE=1.6
敷地面積		2014年度版
延床面積		自己評価
構造		
階数		



主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2. 2. 耐用性・信頼性（都市型制震デバイス・72時間対応の非常用発電設備）
- Q2. 3. 対応性・更新性（アタッチメントスキン）
- Q3. 2. まちなみ・景観への配慮（新たなシンボルの形成）
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制（横ルーバー外装）
- LR1. 2. 自然エネルギー利用（自然換気システム）
- LR1. 3. 設備システムの高効率化（LED照明、センサー制御）